

東吉野

高見山の特色ある山容を中心に周辺の文化遺産が
あいまって特徴ある景観を形成している地区

整備のコンセプト:

森林資源を活かした東吉野の魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- 高見山登山道では、一部人工林が混み合い暗い箇所、眺望が開けていない箇所が見られる。
- 優れた景観を有する地域であるが、視点場が不足している。

課題解決
への
主な対応

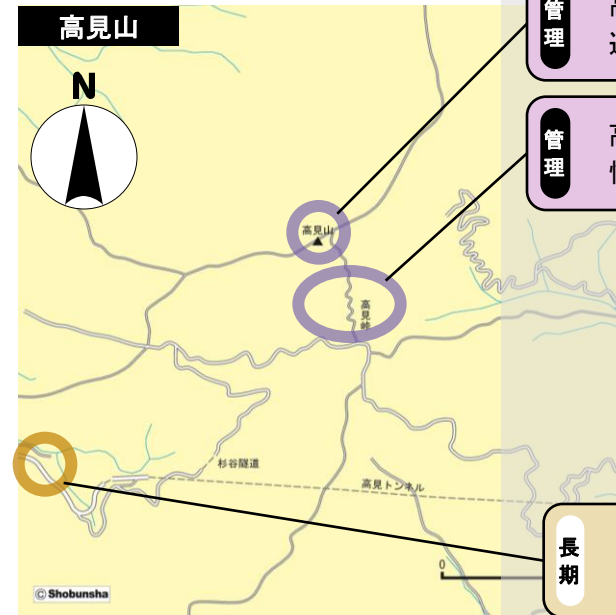
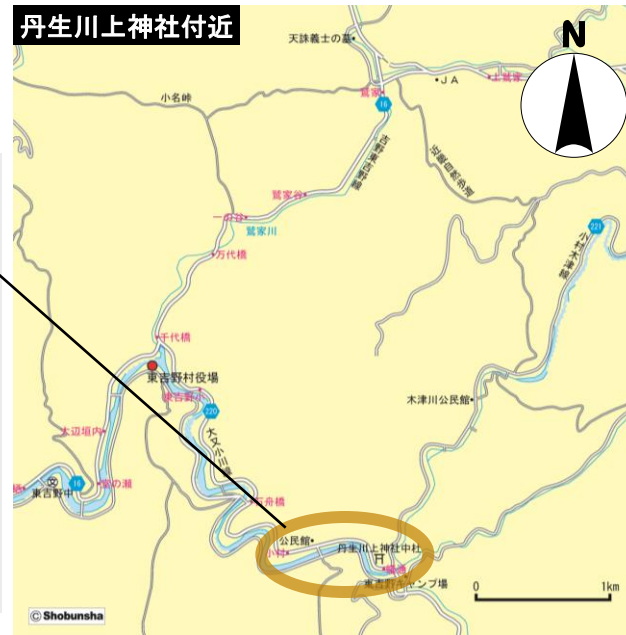
- 支障木の伐採、下草刈り等の恒常的な適正管理
- 視点場の整備

【今後の連携方策】 一部、民地の植栽管理が望ましい箇所もあり、地域と一体となった植栽景観の向上に向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



高見山頂上からの眺望



□高見山

管理 高見山頂からの眺望を維持できるように支障木の伐採等適正な維持管理を行うことが望ましい

管理 高見山登山道については、下草刈りや間伐による採光性の向上を図るため維持管理を行うことが望ましい



現況写真

長期 高見山を眺望できる視点場を設置することが望ましい



現況写真

□丹生川上神社付近

長期 河川や道路沿いのモミジのコントラストを見られるようベンチ等の施設整備を行うことが望ましい



現況写真